

～正しい知識を持ち、地域で見守り支えよう～

認知症についての基礎知識や、対応の仕方について学んでみませんか！



### 「認知症サポーター」とは？

認知症についての正しい知識を持ち、認知症の人や家族に対して、見守り、声かけ等、困っている人がいたら、自分ができる範囲で関わる「応援者」です。

受講後、認知症サポーターの証として、「オレンジリング」をお渡しします。

お知らせ

### 「出張！認知症サポーター養成講座」

対象：市民、小中学生、事業所、グループ(概ね10人以上)等

ご要望に応じて、日程等を調整し講座を開催しますので、ご連絡ください。

(長寿福祉課24-5404)

無料

詳しくはこちら ⇒



☆中学生からの感想

- ・困っている人がいたら、声をかけてお手伝いしたい
- ・相手を思いやる対応が大切と思った



「ロバ隊長」

認知症に関心を持ち、身近なこと、自分事として捉えてもらえると嬉しいです。

「認知症サポーター養成講座」を受講して、認知症について学ぼう！

認知症になっても安心して暮らせるまちをめざす認知症サポーターキャラバンのマスコットです。“ロバのように急がず、一步一步進んでいこう”という意味が込められています。

【設置場所】 各地域包括支援センター、鹿島・小高区役所、各保健（福祉）センター、長寿福祉課、市内小中学校（認知症サポーター養成講座受講）



クイズ だよ♪



1. 認知症は、誰でもなり得る可能性のある身近なものとなっている。
2. 2040（令和22）年の認知症高齢者数（推計）は、65歳以上の6.7人に1人である。  
\*2040年：団塊ジュニア世代が65歳になる年
3. 認知症は、様々な原因で脳の細胞が損傷を受けたり、働きが悪くなることで、認知機能が低下し、日常生活に支障がある状態をいう。
4. 軽度認知障害（MCI）は、健常な状態と認知症の中間で、認知機能の低下がみられるが、日常生活に支障をきたすほどではない状態をいう。
5. 加齢によるもの忘れは、ヒントがあれば思い出せる。
6. 認知症は、すべてのことを忘れたり、何もできなくなる。
7. 認知症の人が騒いだり、怒ったり、一人で外出することは本人なりの理由がある。
8. 認知症の人への対応は、「驚かす」、「急がせる」、「自尊心を傷つける」が大切である。
9. 世界アルツハイマーデーは、9月21日である。
10. 認知症の予防には、運動、栄養、社会参加（交流）が大切である。